



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社MARUWA 上場取引所 東 名  
 コード番号 5344 URL <http://www.maruwa-g.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神戸 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 丹羽 邦人 TEL 0561-51-0839  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満四捨五入

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,157	52.4	2,321	35.8	2,680	34.7	1,890	53.3
25年3月期第3四半期	15,849	△1.6	1,710	△30.9	1,990	△22.5	1,233	△28.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,659百万円 (50.5%) 25年3月期第3四半期 1,767百万円 (81.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	153.23	153.15
25年3月期第3四半期	100.19	100.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	48,227	39,484	81.9	3,198.31
25年3月期	45,610	37,141	81.4	3,014.90

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 39,475百万円 25年3月期 37,108百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	17.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	39.3	3,700	61.8	3,900	24.4	2,650	29.9	215.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－ 除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	12,372,000株	25年3月期	12,372,000株
26年3月期3Q	29,273株	25年3月期	63,673株
26年3月期3Q	12,334,076株	25年3月期3Q	12,308,126株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国においては雇用環境の堅調な回復、株価上昇や個人消費の向上などが景気を下支えたことなどにより、回復の傾向が引き続き見られ、欧州においても混乱が続いた金融市場が小康状態となりました。一方、中国をはじめとするアジア経済は拡大が期待されるものの、成長の陰りや成長率の鈍化が見受けられ、さらには政治情勢の不安定なこともあり先行き不透明な状況が継続しました。

国内経済におきましても、円安による輸出企業業績の持ち直し、現政権による経済・金融政策およびその期待感により、株価上昇に伴う資産効果、高額品への消費意欲の向上、さらに、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要も加わり、改善傾向が見られました。しかしながら、円安による企業業績の回復期待の一方で、原油をはじめとする輸入額の高騰により貿易赤字が依然継続しており、消費税率引き上げの実施など未だ先行きの不透明感は拭えておりません。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては情報通信関連分野、省エネ・環境関連分野向けのセラミック基板や、光の質を重視させた照明機器などが堅調に推移し、連結売上高は24,179百万円（前年同期比52.4%増）となりました。連結利益に関しましては、営業利益は2,321百万円（前年同期比35.8%増）、経常利益は2,680百万円（前年同期比34.7%増）、四半期純利益（平成25年4月1日－平成25年12月31日）は1,890百万円（前年同期比53.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① セラミック部品事業

連結売上高は前年同期比9.8%増の15,873百万円、営業利益は前年同期比30.6%増の2,959百万円となりました。

当事業における省エネ・環境関連市場は好調であり、特にHEVやLED向けのセラミック製品などの売上高は堅調に推移しました。さらに、デジタル家電向けを中心とした汎用電子部品需要や半導体製造装置関連製品なども、緩やかな回復基調となりました。

#### ② 照明機器事業

連結売上高は前年同期比492.5%増の8,284百万円、営業利益は前年同期比21.3%減の64百万円となりました。

当事業における連結売上高は一昨年12月に子会社となったYAMAGIWAが連結されたことにより、大幅な増収となりました。昨年4月より新YAMAGIWA体制がスタートし、収益体質強化を図るため、継続的な合理化と経費削減を行い、当期第2四半期累計期間の営業損失を、大幅に改善することが出来ました。引き続き、体質強化を図ってまいります。

また、当社グループで培われたセラミック技術を応用したセラミックLEDモジュールや、それらを使用した新しい照明機器のリリースと拡販に注力してまいります。

	前 期 平成25年 3 月期第 3 四半期	当 期 平成26年 3 月期第 3 四半期
セラミック部品事業		
売上高	14,450	15,873
営業利益 (営業利益率)	2,265 (15.7)	2,959 (18.6)
照明機器事業		
売上高	1,398	8,284
営業利益	82	64
合計		
売上高	15,849	24,157
営業利益	2,347	3,023
消去又は全社		
売上高	—	—
営業利益又は営業損失(△)	△637	△702
連結		
売上高	15,849	24,157
営業利益	1,710	2,321

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における連結の総資産は48,227百万円となり、前期末と比較して5.7%増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものです。

負債は8,743百万円となり、前期末と比較して3.2%増加しました。主に、設備等支払手形の増加によるものです。

純資産は、39,484百万円となり、前期末と比較して6.3%増加しました。主に、利益剰余金の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は81.9%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月15日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	11,312,207	12,524,971
受取手形及び売掛金	8,560,253	8,301,895
電子記録債権	32,482	246,341
商品及び製品	1,793,457	2,009,588
仕掛品	1,250,820	1,342,652
原材料及び貯蔵品	2,449,066	2,822,436
繰延税金資産	259,673	416,010
その他	619,172	766,379
貸倒引当金	△22,740	△22,800
流動資産合計	26,254,390	28,407,471
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	8,840,067	9,085,245
減価償却累計額	△4,800,983	△4,936,990
建物及び構築物(純額)	4,039,084	4,148,255
機械装置及び運搬具	18,372,369	19,606,115
減価償却累計額	△11,925,537	△13,115,568
機械装置及び運搬具(純額)	6,446,832	6,490,547
土地	3,624,735	3,514,686
建設仮勘定	1,792,414	1,907,372
その他	3,918,132	4,069,348
減価償却累計額	△3,296,575	△3,477,795
その他(純額)	621,557	591,553
有形固定資産合計	16,524,622	16,652,412
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,006,461	788,822
その他	367,833	419,412
無形固定資産合計	1,374,294	1,208,234
<b>投資その他の資産</b>		
投資その他の資産合計	1,456,671	1,958,853
固定資産合計	19,355,587	19,819,500
資産合計	45,609,977	48,226,971

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,085,991	2,858,712
1年内返済予定の長期借入金	339,384	339,384
未払法人税等	607,325	512,945
賞与引当金	390,798	252,441
役員賞与引当金	4,750	2,375
設備関係支払手形	315,196	660,956
その他	1,717,607	1,845,474
流動負債合計	6,461,051	6,472,287
固定負債		
長期借入金	788,961	1,362,772
繰延税金負債	103,606	285,651
退職給付引当金	876,543	—
環境対策引当金	—	26,256
その他	238,832	595,912
固定負債合計	2,007,942	2,270,592
負債合計	8,468,993	8,742,879
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,646,720	8,646,720
資本剰余金	11,909,321	11,940,169
利益剰余金	17,181,113	18,676,612
自己株式	△134,250	△61,963
株主資本合計	37,602,904	39,201,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,517	65,891
為替換算調整勘定	△511,034	208,471
その他の包括利益累計額合計	△494,517	274,363
新株予約権	31,666	7,100
少数株主持分	931	1,091
純資産合計	37,140,984	39,484,092
負債純資産合計	45,609,977	48,226,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	15,848,737	24,157,212
売上原価	11,387,218	15,997,351
売上総利益	4,461,518	8,159,861
販売費及び一般管理費	2,752,016	5,838,854
営業利益	1,709,503	2,321,008
営業外収益		
受取利息	29,649	36,660
受取賃貸料	72,266	87,279
為替差益	212,785	257,991
その他	38,743	50,609
営業外収益合計	353,443	432,539
営業外費用		
支払利息	1,577	6,260
投資不動産賃貸費用	38,793	42,731
環境対策費	18,980	—
和解金	—	19,013
その他	13,414	5,276
営業外費用合計	72,765	73,280
経常利益	1,990,181	2,680,267
特別利益		
固定資産売却益	825	1,427
投資有価証券売却益	2,026	6,920
受取補償金	—	64,844
国庫補助金	206,750	—
特別利益合計	209,601	73,191
特別損失		
固定資産除売却損	43,637	50,934
固定資産圧縮損	206,750	—
環境対策引当金繰入額	—	26,256
その他	13,495	12,831
特別損失合計	263,882	90,020
税金等調整前四半期純利益	1,935,900	2,663,438
法人税、住民税及び事業税	584,692	840,380
法人税等調整額	117,851	△67,072
法人税等合計	702,543	773,309
少数株主損益調整前四半期純利益	1,233,357	1,890,129
少数株主利益	214	177
四半期純利益	1,233,142	1,889,952

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,233,357	1,890,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,880	49,357
為替換算調整勘定	553,241	719,505
その他の包括利益合計	533,362	768,862
四半期包括利益	1,766,718	2,658,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,766,504	2,658,831
少数株主に係る四半期包括利益	214	160

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,450,500	1,398,237	15,848,737	—	15,848,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,938	22,448	44,386	△44,386	—
計	14,472,437	1,420,685	15,893,123	△44,386	15,848,737
セグメント利益	2,264,836	81,717	2,346,553	△637,051	1,709,503

(注) 1. セグメント利益の調整額△637,051千円には、セグメント間取引消去23,441千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△660,492千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売管理費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成24年12月3日にヤマギワ株式会社の株式を取得し連結子会社としたことから、「照明機器事業」においてのれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象による当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は1,079,007千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,873,022	8,284,190	24,157,212	—	24,157,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,060	21,851	28,912	△28,912	—
計	15,880,083	8,306,041	24,186,124	△28,912	24,157,212
セグメント利益	2,958,587	64,321	3,022,907	△701,900	2,321,008

(注) 1. セグメント利益の調整額△701,900千円には、セグメント間取引消去24,146千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△726,046千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売管理費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。